

患者さんおよび保護者の方へ

「脳腫瘍(ロゼット形成性グリア神経細胞腫瘍)の研究」について

神戸大学医学部附属病院病理診断科では、現在、平成 18 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までの期間中に脳腫瘍摘出が行われた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。なお、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

【研究概要および利用目的】

神戸大学医学部附属病院病理診断科では、ロゼット形成性グリア神経細胞腫瘍という脳腫瘍の研究を行っております。この研究は、神戸大学と兵庫県立がんセンターが参加する共同研究です。

この腫瘍は、2007 年に確立された珍しい腫瘍なので、なぜ腫瘍が発生するのか、はっきりとはわかっていません。最近、この腫瘍の類縁疾患(同じような特徴をもった腫瘍)で、KIAA1549、BRAF、FGFR1 という遺伝子の異常が明らかになりましたが、ごく最近になって、ロゼット形成性グリア神経細胞腫瘍の一部に同じような異常が見られることがわかってきました。本研究では、KIAA1549、BRAF、FGFR1 の異常がロゼット形成性グリア神経細胞腫瘍の発生に関与しているかどうかを研究します。もし、この関連性が明らかになれば、ロゼット形成性グリア神経細胞腫瘍の診断や治療に役立つ知見に発展する可能性があります。

【研究期間】

この研究は、神戸大学大学院医学研究科長承認年月日(平成 28 年 3 月 15 日)から平成 29 年 12 月 31 日まで行う予定です。

【取り扱い試料およびデータ】

- ・患者背景：性別、年齢
- ・臨床経過データ：診断契機、臨床経過
- ・放射線学的データ：診断時の画像所見
- ・切除された肺もしくはリンパ節組織：病理組織学的特徴びょうりそしきがくてきとくちよう（顕微鏡を用いて解析します）

KIAA1549-BRAF の遺伝子再構成の有無

BRAF V600E の突然変異の有無

FGFR1 の突然変異の有無

【個人情報保護の方法】

個人情報、検査結果などの記録、保管は第三者が直接患者さんを識別できないよう登録時に定めた登録番号を用いて行います。また得られた記録は、インターネットに接続していない外部記

憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科病理診断学研究室の鍵のかかる保管庫に保管します。

【研究への試料およびデータ提供による利益・不利益】

利益・・・本研究にデータをご提供いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、本研究結果が、ロゼット形成性グリア神経細胞腫瘍の診断や治療に役立つ可能性があります。

不利益・・・本研究では、保管されている病理組織検体ならびに臨床データを収集するのみであるため、不利益や危険性が生じることはありません。

【研究終了後の試料およびデータの取り扱いについて】

研究終了後には、データは、患者さん個人を特定できない状態にして廃棄します。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

【研究への試料およびデータ使用の取り止めについて】

いつでも可能です。病理標本やデータを本研究に用いられたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。病理標本やデータ使用の同意を取り消されても、患者さんに不利になることや、今後の治療で気まずくなるなどの不利益が生じることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

【問い合わせ窓口】

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、あるいはご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

神戸大学大学院医学研究科病理学講座病理診断学分野病理ネットワーク学部門

特命教授 全 陽（ぜん よう）

連絡先：078-382-6473